

資料編

堺市男女共同参画に関する 市民意識・実態調査

平成22年11月
堺市

■本調査について

1. この調査は、男女共同参画に関することからについて市民の皆様のお考えをお尋ねするものです。この調査結果を今後の男女共同参画施策を推進するうえでの基礎資料として活用していきます。
2. この調査は、堺市民の皆様の中から無作為に4,500人の方を選び、調査票をお送りしています。
3. 無記名でお答えいただき、どなたの答えかわからないようになっていますので、回答内容についてあなた自身にご迷惑をおかけすることはありません。
4. この調査は、上記の目的以外に使用することはありません。

■記入上の注意

1. あて名のご本人が、お答えください。
2. お答えは、ボールペンか鉛筆などでハッキリとご記入ください。

■調査票の回収

記入いただいた調査票は、無記名のまま、11月19日（金）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。

（注）点字版調査票及び、拡大版調査票をご用意しておりますので必要な方は下記までご連絡ください。

【 問 い 合 わ せ 先 】

この調査に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

堺市 市民人権局 男女共同参画推進課

所在地：堺市堺区南瓦町3番1号

電 話：228-7408（直通）

FAX：228-8070

電子メール：danjokyo@city.sakai.lg.jp

Ⅰ 男女の役割や地位に関する意識について

問1 あなたは、次にあげる分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。

(それぞれ〇は一つ)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
(1) 家庭生活上で	1	2	3	4	5
(2) 就職活動の場や職場で	1	2	3	4	5
(3) 地域活動の場で	1	2	3	4	5
(4) 学校教育の場で	1	2	3	4	5
(5) 政治の場で	1	2	3	4	5
(6) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5

問2 次の考え方について、あなたはどう思いますか。(それぞれ〇は一つ)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
(1) 夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである	1	2	3	4
(2) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい	1	2	3	4
(3) 夫の言うことに従うのが、「よい妻」である	1	2	3	4
(4) 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4
(5) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
(6) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4
(7) 希望する夫婦は別の姓を名乗っても構わない	1	2	3	4
(8) 父親よりも、母親のほうが育児に向いている	1	2	3	4
(9) 理科や数学は、女子よりも男子が向いている	1	2	3	4
(10) 子どもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい	1	2	3	4

問3 あなたが、今後女性がもっと増えた方がいいと思う職業や役職はどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 大臣や閣僚	2. 地方自治体の首長（知事、市長など）
3. 国会議員・地方議員などの政治家	4. 国家公務員・地方公務員の管理職
5. 裁判官・検察官・弁護士	6. 大学教授
7. 企業の管理職	8. 起業家・経営者
9. 団体（組合、NPO、自治会等）の役員	10. 学校長・大学学長
11. 新聞・放送の記者	12. 医師
13. 科学者	14. その他（具体的に)
15. 特にない	

Ⅱ 家庭生活について

問4 家庭における役割について、あなたはどのようにお考えですか。配偶者・パートナーがいない方は、仮にいないことを想定してお答えください。（それぞれ〇は一つ）

※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚の相手も含まれます。

	主として夫の役割	夫の役割 どちらかといえば	両方同じ程度の役割	妻の役割 どちらかといえば	主として妻の役割
(1) 生活費をかせぐ	1	2	3	4	5
(2) 日々の家計の管理をする	1	2	3	4	5
(3) 日常の家事	1	2	3	4	5
(4) 老親や病身者の介護や看護	1	2	3	4	5
(5) 子どもの教育としつけ	1	2	3	4	5
(6) 育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5
(7) 自治会、町内会など地域活動への参加	1	2	3	4	5

Ⅲ 育児と子どもの教育について

問5 子どもが0～2歳のあいだ、どのように育児するのが望ましいと思いますか。

あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇は一つ)

1. 育児は、できるだけ家族だけで行なう
2. 子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する
3. 保育所を利用しながら、育児を行なう
4. 保育所を利用しながら、一時的な育児支援や地域ネットワークも利用して、育児する
5. その他(具体的に)

問6 あなたの子どもには、どの程度までの教育を受けさせたいと思いますか。

女の子、男の子それぞれについてお答えください。子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(それぞれ〇は一つ)

女の子	男の子
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校 2. 高等学校 3. 専門・専修学校 4. 短期大学・高等専門学校 5. 大学 6. 大学院 7. その他(具体的に) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校 2. 高等学校 3. 専門・専修学校 4. 短期大学・高等専門学校 5. 大学 6. 大学院 7. その他(具体的に)

問7 あなたの子どもに、次のことをどのくらい身につけてほしいと思いますか。

女の子、男の子それぞれについてお答えください。子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(それぞれ〇は一つ)

	女の子				男の子			
	必ず身につけるべきだ	つけてほしい	できれば身につけなくてよい	あまり身につけてよい	必ず身につけるべきだ	つけてほしい	できれば身につけなくてよい	あまり身につけてよい
(1) 自立できる経済力	1	2	3	4	1	2	3	4
(2) 家事・育児の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
(3) 家族や周囲の人と円満に暮らす力	1	2	3	4	1	2	3	4
(4) 個性を伸ばすこと	1	2	3	4	1	2	3	4
(5) 自立心	1	2	3	4	1	2	3	4

問8 男女平等を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（性別による役割分担の例：リーダー的役割は男子で、女子は補佐役など）
2. 進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 男女平等の意識を育てる授業をする
4. 男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う
5. 校長や教頭に女性を増やしていく
6. 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す
7. その他（具体的に
8. 学校教育の中でする必要はない |) |
|---|---|

未就学の子どもがいる方にうかがいます。 ※いない方は問11へ

問9 あなたには、次の(1)(2)ができる人はいますか。(それぞれ〇はいくつでも)

	配偶者・パートナー	あなた又は配偶者・パートナーの親	兄弟・姉妹	その他の親戚	保育所や子育てサークルなどの育児支援サービス	近隣・友人など個人的な知り合い	いない
(1) 子どもの世話を頼むことができる	1	2	3	4	5	6	7
(2) 育児について相談にのってくれる	1	2	3	4	5	6	7

問10 あなたは、次のように思うことが、どのくらいありますか。(それぞれ〇は一つ)

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
(1) 子どもと一緒にいると楽しい	1	2	3	4
(2) 子どもがわづらわしくて、イライラする	1	2	3	4
(3) 叱るときに思わず手が出てしまうことがある	1	2	3	4
(4) 子どものことでどうしたらいいか分からなくなる	1	2	3	4
(5) 子どもに関心がもてない	1	2	3	4
(6) 育児によって自分が成長すると思う	1	2	3	4
(7) 自分ひとりで育児をしていると思う	1	2	3	4

Ⅳ 介護について

問 11 一般に親を介護する場合、どうするのが望ましいと思いますか。

あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇は一つ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族だけで介護する
2. デイサービス・訪問介護などのサービスや、交流の場や声かけなど地域ネットワークを利用しながら、主に自宅で介護する
3. 特別養護老人ホーム等の施設や介護付きの有料老人ホームに入り、家族が訪問する
4. 特別養護老人ホーム等の施設や介護付きの有料老人ホームに入り、交流の場や声かけなど地域ネットワークを利用する
5. その他 ()

問 11 で、1・2と回答した方にうかがいます。 ※3・4・5は問 13 へ

問 12 自宅で介護する場合、家族のうち、どなたが主に介護するのが望ましいと思いますか。

(〇は一つ)

1. 配偶者・パートナー
2. 息子
3. 娘
4. 娘の夫
5. 息子の妻
6. 本人のきょうだい
7. その他 ()

再び、全員の方にうかがいます。

問 13 あなたが介護される場合、どうしてほしいと思いますか。

あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇は一つ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族だけで介護してもらいたい
2. デイサービス・訪問介護などのサービスや、交流の場や声かけなど地域ネットワークを利用しながら、主に自宅で介護してもらいたい
3. 特別養護老人ホーム等の施設や介護付きの有料老人ホームに入りたい
4. 特別養護老人ホーム等の施設や介護付きの有料老人ホームに入り、交流の場や声かけなど地域ネットワークを利用したい
5. その他 (具体的に)

問 13 で、1・2 と回答した方につながります。 ※3・4・5 は問 15 へ

問 14 家族のうち、どなたが主に介護するのが望ましいと思いますか。(〇は一つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 息子 |
| 3. 娘 | 4. 娘の夫 |
| 5. 息子の妻 | 6. 自分のきょうだい |
| 7. その他 () | |

再び、全員の方につながります。

問 15 同居、あるいは別居の家族で、介護の必要な方はいますか。(〇は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 15 で1 と回答した方につながります。 ※2 の方は問 18 へ

問 16 同居、あるいは別居の家族で介護が必要な方のうち、あなた自身が介護している人はいますか。いる方は、人数もお答えください。(〇は一つ)

- | | |
|-------------|--------|
| 1. いる () 人 | 2. いない |
|-------------|--------|

問 17 あなたには、次の(1)(2)ができる人はいますか。(それぞれ〇はいくつでも)

	配偶者・パートナー	あなた又は配偶者・パートナーの親	兄弟・姉妹	その他の親戚	デイサービス・ショートステイなどの介護サービス	近隣・友人など個人的な知り合い	いない
(1) 家族の介護を頼むことができる	1	2	3	4	5	6	7
(2) 介護について相談にのってくれる	1	2	3	4	5	6	7

Ⅴ 仕事について

問 18 「女性の働き方」について、あなたの現実と理想はどれにあてはまりますか。

(それぞれ○は一つ)

※女性の方はご自身について、男性の方はご自身の配偶者・パートナー(女性)についてお答えください。

※配偶者・パートナー(女性)がいない男性の方は、「女性の働き方」の理想についてのみ、お答えください。

	現実 は	理想 は
(1) 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	1	1
(2) 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する	2	2
(3) 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する	3	3
(4) 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	4	4
(5) 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	5	5
(6) 仕事には就かない	6	6
(7) その他(具体的に)	7	7

問 19 あなたと、あなたの配偶者・パートナーの現在の勤務形態はどれにあてはまりますか。

また、あなたの希望の勤務形態はどれにあてはまりますか。

※配偶者・パートナーがいない方はご自身の欄だけ記入してください。(それぞれ○は一つ)

	現在の勤務形態		希望の勤務形態 (あなた)
	あなた	配偶者・ パートナー	
(1) 常時雇用の正社員または正職員	1	1	1
(2) 臨時雇、パート・アルバイト、非常勤、派遣等の非正規社員(職員)	2	2	2
(3) 自営業主または家族従業者	3	3	3
(4) 専業主婦・主夫	4	4	4
(5) 学生	5	5	5
(6) 無職(専業主婦・主夫を除く)	6	6	6
(7) その他(具体的に)	7	7	7

問 20 あなたは、仕事に関する次のことについて、性別による差があると思いますか。

(それぞれ〇は一つ)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
(1) 募集・採用	1	2	3	4	5
(2) 賃金	1	2	3	4	5
(3) 仕事の内容	1	2	3	4	5
(4) 昇進・昇格	1	2	3	4	5
(5) 管理職への登用	1	2	3	4	5
(6) 能力評価(業績評価・人事考課など)	1	2	3	4	5
(7) 研修の機会や内容	1	2	3	4	5
(8) 育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4	5

問 21 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 女性の雇用機会を拡大する 2. 賃金、昇給の男女の格差をなくす 3. 男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める 4. 男女ともに、能力を發揮できる配置を行う 5. 男女ともに、教育・研修機会を充実する 6. 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる 7. 男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする 8. 職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす 9. 職場において男女が対等であるという意識を普及させる 10. 女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める 11. その他(具体的に) 12. わからない

問 22 男性が、休業や休暇を取得することについてどう思いますか。

(それぞれ○は一つ)

	とった方がよい	どちらかといえばとった方がよい	どちらかといえばとらない方がよい	とらない方がよい
(1) 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4
(2) 子の看護休暇（病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇）	1	2	3	4
(3) 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4
(4) 介護休暇（短期の介護のための年5日程度の休暇）	1	2	3	4

問 22 で一つでも 3・4 と回答した方にうかがいます。 ※それ以外の方は問 24 へ

問 23 そう考えるのは、なぜですか。

(あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎)

1. 経済的に苦しくなる
2. 職場の理解が得られない
3. 仕事の評価や配属に影響する
4. 男性より女性がとるべきである
5. 男性が育児や介護の地域ネットワークに参加しにくい
6. 男性は育児・介護に慣れていない
7. 周囲に取得した男性がいない
8. その他（具体的に _____)

再び、全員の方にうかがいます。

問 24 あなたは、これまでに仕事を辞めたことがありますか。(○は一つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 辞めたことがある | 2. 辞めたことはない |
|-------------|-------------|

問 24 で、1 と回答した方にうかがいます。 ※2 と回答した方は問 26 へ

問 25 前職を辞めたのは、なぜですか。

(あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎)

1. 自分の希望に合う転職先が見つかった
2. 健康上の理由
3. 定年退職
4. 家事や子育てとの両立が困難だった
5. 介護・看護との両立が困難だった
6. 配偶者・パートナーの転勤のため
7. 家族が望まなかった
8. 職場内に結婚や出産で退職する慣行があった
9. 職場内での人間関係の問題やセクシュアル・ハラスメントなどのため
10. 希望どおりの仕事内容・労働条件ではなかった
11. 家事や子育てに専念したかった
12. 介護・看護に専念したかった
13. その他（具体的に： _____)
14. 特に理由はない

Ⅵ 地域・生活全般について

問 26 あなたは、現在お住まいの地域で、次の活動に参加したことはありますか。また、今後参加したいと思いますか。（それぞれ○は一つ）

	参加したことがある		参加したことがない	
	今後は参加したい	今後は参加したくない	今後は参加したい	今後は参加したくない
(1) 自治会や町内会等の活動	1	2	3	4
(2) 老人会、女性会、青年会、子ども会等の活動	1	2	3	4
(3) 学校のPTA 活動	1	2	3	4
(4) 民生委員などの公的委員活動	1	2	3	4
(5) NPO（民間非営利組織）やボランティアなどの活動	1	2	3	4
(6) 趣味・スポーツ・学習などのサークル活動	1	2	3	4
(7) その他（具体的に _____)	1	2	3	4

すべて、2・3・4の方は問 27 へ

問 26 で、すべて 2・3・4 と回答した方にうかがいます。 ※それ以外の方は問 28 へ

問 27 参加したことがない、あるいは今後参加したくないのはなぜですか。

(○はいくつでも)

1. 仕事が忙しい
2. 家事・育児・介護などで暇がない
3. 健康に自信がない
4. 人間関係がわずらわしい
5. 自分の意見や地域のニーズが反映されない
6. 自分の意見が男女平等に扱われない
7. 活動について情報が得られない
8. 活動するためのお金がない
9. その他 (具体的に)

再び、全員の方にうかがいます。

問 28 あなたがお住まいの地域の活動では、次のことがありますか。

(あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎)

1. 男性の参加が少ない
2. 女性の参加が少ない
3. 男性が女性を対等なパートナーとして見ていない
4. 女性が表に出るべきでないという雰囲気がある
5. 女性は発言しにくかったり、意見が聞き入れられにくい
6. 女性が役職に就きたがらない
7. 団体の会長には男性が就き、女性は補助的役職に就く慣行がある
8. 活動の準備や後片付けなどは女性が行う慣行がある
9. その他 (具体的に)
10. よく知らない

問 29 地域活動における方針決定の場で、女性が増えるための具体的施策として、効果的だと思うことはどれですか。(あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎)

1. 女性のリーダー研修
2. 地域で開催する男女共同参画についての研修
3. 女性の役職者が増えるように働きかける
4. 女性の活動を支援する組織や連携づくり
5. 男女共同参画を推進した団体や個人の活動の紹介
6. 性別にとらわれない組織運営のみなおし
7. その他 (具体的に)

問30 あなたがお住まいの地域は、次のような地域だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 小さな子どもを連れて出かけやすい
2. 高齢者が出かけやすい
3. 夜道でも安心して歩くことができる
4. 近所同士のふれあいや支えあいがある
5. 高齢者が元気でいられるための支援や、介護支援のサービスが充実している
6. 子育て支援のサービスが充実している
7. その他(具体的に) |
|---|

問31 あなたは普段、どの程度、人(家族を含む)と話しますか(電話や携帯・パソコンのメールを含む)。(〇は一つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 毎日 | 2. 2~3日に1回 |
| 3. 1週間に1回 | 4. ほとんど誰とも話をしない |

問32 あなたは普段、以下の活動にどれくらいの時間を費やしていますか(現状)。また、どれくらいの時間を費やしたいと思いますか(理想)。「現状」と「理想」のそれぞれについて、ご記入ください。(該当しない場合は×を記入)

※同時に2つ以上のことをしている場合、それぞれの欄に時間をご記入ください。

	現状		理想	
	仕事や学校のある日	休みの日	仕事や学校のある日	休みの日
(1) 仕事・学校 (通勤・通学時間を含む)	時間	時間	時間	時間
(2) 家事(炊事、買物、洗濯、掃除など)	時間	時間	時間	時間
(3) 育児	時間	時間	時間	時間
(4) 介護	時間	時間	時間	時間
(5) 地域活動	時間	時間	時間	時間
(6) 自由に使える時間	時間	時間	時間	時間
(7) 睡眠時間	時間	時間	時間	時間

問 33 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、
 どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎)

- | |
|---|
| 1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 家事、子育て、介護、地域活動の社会的な評価を高めること
3. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと
4. 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
6. 小さいときから男の子に、家事や育児に関わるしつけ・教育をすること
7. その他（具体的に _____)
8. 特に必要ない |
|---|

Ⅶ 男女間の暴力について

問 34 あなたは、最近3年の間に、職場・学校・地域などの身近なところで次の行為を受けた
 ことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	職場で 受けた	学校で 受けた	地域で 受けた	ない 受けた ことは
(1) 地位や権限を利用して、性的な関係を迫られた	1	2	3	4
(2) さわる、抱きつくなど肉体的接触を受けた	1	2	3	4
(3) 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた	1	2	3	4
(4) 宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要された	1	2	3	4
(5) 結婚予定や出産予定をたびたび聞かれた	1	2	3	4
(6) 目につきやすい所に、ヌードの写真やカレンダーなどが置いてあった	1	2	3	4
(7) じろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた	1	2	3	4
(8) 「異性関係が派手だ」などと性的なうわさを流された	1	2	3	4

問 35 あなたは、これまでに配偶者・パートナーや交際相手から、次の行為を受けたことがありますか。（それぞれ〇は一つ）

	配偶者・パートナーから			交際相手から		
	何度もあった	1、2度あった	まったくくない	何度もあった	1、2度あった	まったくくない
(1) なくる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行	1	2	3	1	2	3
(2) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど経済的に困らせる	1	2	3	1	2	3
(3) 人格を否定するようなことを言う、交友関係を細かく監視する、なくるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ	1	2	3	1	2	3
(4) いやがっているのに性的なことを強要したり、避妊をしてくれない	1	2	3	1	2	3

問 36 へ

問 34 で一つでも 1～3 と答えた方、
問 35 で一つでも 1・2 と答えた方にうかがいます。 ※それ以外の方は問 38 へ

問 36 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。（〇はいくつでも）

1. 配偶者暴力相談支援センター（女性相談センター）
2. 市役所・区役所
3. 警察
4. 労働局の雇用均等室
5. 民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）
6. 医療関係者（医師、看護師など）
7. 職場・学校の相談窓口
8. 家族や親戚
9. 友人・知人
10. その他（具体的に _____ ）
11. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）

問 36 で、11 と回答した方にうかがいます。

問 37 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。

（あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎）

1. どこ／だれに相談してよいのかわからなかった
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかった
3. 相談してもむだだと思った
4. 相談したことがわかると、もっとひどい暴力・嫌がらせを受けると思った
5. 加害者に「誰にも言うな」とおどされた
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思った
7. 他の人を巻き込みたくなかった
8. 周囲の人と、これまでのようなつき合いができなくなると思った
9. そのことについて思い出したくなかった
10. 自分にも悪いところがあると思った
11. 相手の行為は愛情の表現だと思った
12. 相談するほどのことではないと思った
13. その他（具体的に

ここからは、再び全員の方にうかがいます。

問 38 男女間の暴力をなくすために、もっと取り組みを進める必要があるのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○、最もあてはまるもの一つに◎）

1. 地域・学校・家庭などで、暴力を防止するための教育を行う
2. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
3. 被害者の保護や自立のための生活支援制度を充実させる
4. 被害者を発見しやすい立場の警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
5. 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
6. 加害者への罰則を強化する
7. 地域社会にいる加害者の行動を監視する
8. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターゲームなど）を取り締まる
9. その他（具体的に

問 39 女性や男性が被害を受けていると思うのは、どのようなことについてですか。
 (それぞれ〇はいくつでも)

	女性 が被害を 受けて いる	男性 が被害を 受けて いる
(1) 「女/男のくせに」「女/男だから」という言葉	1	1
(2) 男女の固定的な役割分担を押しつけること	2	2
(3) 体の一部や媚(こ)びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告など	3	3
(4)ヌード写真等を掲載した雑誌、ポルノ映画、アダルトビデオなど	4	4
(5) 職場や学校等におけるセクシュアル・ハラスメント	5	5
(6) 配偶者・パートナーや交際相手からの身体的暴力(なぐる、けるなど)	6	6
(7) 配偶者・パートナーや交際相手からの精神的暴力(暴言、長時間の無視など)	7	7
(8) 配偶者・パートナーや交際相手からの経済的暴力(生活費を渡さないなど)	8	8
(9) 配偶者・パートナーや交際相手からの性的暴力(嫌がっているのに性的なことを強要する、避妊してくれないなど)	9	9
(10) 痴漢される	10	10
(11) ストーカー	11	11
(12) 買売春	12	12
(13) 性犯罪	13	13
(14) その他(具体的に)	14	14
(15) 特にない	15	15

Ⅷ 男女共同参画に関する言葉や施策について

問 40 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(○はいくつでも)

1. 男女共同参画社会基本法
2. 女子差別撤廃条約
3. ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）
4. ジェンダー（社会的・文化的性別）
5. 男女雇用機会均等法
6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
7. 子ども・子育てビジョン
8. 育児介護休業法
9. 配偶者暴力防止法（DV 防止法）
10. ストーカー防止法
11. 見たり聞いたりしたものはない

問 41 次の施策や取組みのうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(○はいくつでも)

1. 堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例
2. さかい男女共同参画プラン
3. 女と男がいきるのや SAKAI 宣言
4. さかい男女共同参画推進課だよりーWindy(ウィンディー)ー
5. 女と男のフォーラム
6. さかい男女共同参画週間
7. 見たり聞いたりしたものはない

問 42 あなたは、次の制度や施設を利用したことはありますか。また、見たり聞いたりしたことはありますか。(それぞれ○は一つ)

	ある 利用したことが	ある 見聞きしたことは	まったく見聞きし たことがない
(1) 堺市男女平等に関する苦情・相談処理制度	1	2	3
(2) 女性の悩みの相談	1	2	3
(3) 堺市立女性センター	1	2	3
(4) 堺市男女共同参画交流の広場	1	2	3
(5) ユニフェム（国連女性開発基金）日本事務所	1	2	3

問 43 女性も男性もともにいきいきと暮らせる男女共同参画社会実現のために、国や大阪府、堺市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○、最も重要だと思うもの一つに◎)

1. まだ男女が平等になっていない法律や制度の見直しを行う
2. 審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する
3. 企業などが女性の積極的な登用や男女の均等な取扱いを進めるよう働きかける
4. 育児・介護等を支援する施設、サービスを充実する
5. 育児・介護中の仕事の継続や再就職を支援する
6. ひとり親家庭や生活困難家庭の相談事業などの支援を充実する
7. 仕事と生活のバランスがとれるよう男女ともに働き方の見直しを進める
8. 女性に対する暴力(セクシュアル・ハラスメントや配偶者等からの暴力等)の防止や被害者への支援を充実する
9. 思春期からの生涯を通じた健康づくりや性に関する教育・相談事業を推進する
10. 学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する
11. 政策・方針決定に関わる者や管理職の意識改革を進める
12. 男女共同参画に関する広報、情報提供、啓発活動を充実する
13. その他(具体的に _____)
14. 特になし

問 44 男女共同参画社会の実現にあたってご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

最後に、あなたご自身のことについてうかがいます。

F1 あなたの性別をお答えください。

()

F2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(記入日時点)(○は一つ)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 20~24 歳 | 2. 25~29 歳 | 3. 30~34 歳 | 4. 35~39 歳 |
| 5. 40~44 歳 | 6. 45~49 歳 | 7. 50~54 歳 | 8. 55~59 歳 |
| 9. 60~64 歳 | 10. 65~69 歳 | 11. 70 歳以上 | |

F3 あなたが最後に通われた学校(中退を含む)はどれにあてはまりますか。

在学中の方は、現在通学されている学校をお答えください。(○は一つ)

- | |
|--|
| 1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校 |
| 2. 高等学校、中卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中学校 |
| 3. 短大、高等専門学校、高卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高校、
専門学校 |
| 4. 大学、大学院 |

F4 あなたは結婚(事実婚を含む)していますか。(○は一つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 未婚 |
| 2. 結婚している(配偶者・パートナーがいる) |
| 3. 結婚したが、離婚又は死別した |

F5 あなたにはお子さんがいますか。(別居を含む)

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. 子どもはいない | | |
| 2. 女の子だけがいる | 3. 男の子だけがいる | 4. 女の子と男の子がいる |

F5で2~4と答えた方にうかがいます。 ※1と答えた方はF9へ

F6 お子さんは何人いますか。(別居を含む)

()人

F7 同居しているお子さんは何人いますか。

()人

F8 一番下のお子さんは何歳ですか。(記入日時点)

()歳

F9 あなたが現在、同居している家族の構成はどれにあてはまりますか。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦・カップルだけ |
| 3. 親と子ども（二世代） | 4. 祖父母と親と子（三世代） |
| 5. その他（具体的に | ） |

F10 昨年の、あなたの世帯（生計をともにしている家族全員）の収入の合計額は、
税込みでどれくらいですか。（〇は一つ）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万円以上 400万円未満 |
| 3. 400万円以上 600万円未満 | 4. 600万円以上 800万円未満 |
| 5. 800万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 1,500万円未満 |
| 7. 1,500万円以上 | |

F11 昨年の、あなたの個人の収入は、税込みでどれくらいですか。

また、あなたの配偶者・パートナーの個人の収入は、税込みでどれくらいですか。

次の中から、それぞれあてはまるものの番号をご記入ください。

※配偶者・パートナーがいない方は、ご自身の欄だけご記入ください。

（1）昨年のあなたの収入 （ ）番

（2）昨年のあなたの配偶者・パートナーの収入 （ ）番

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 収入なし | 2. 103万円未満 |
| 3. 103万円以上 130万円未満 | 4. 130万円以上 200万円未満 |
| 5. 200万円以上 400万円未満 | 6. 400万円以上 600万円未満 |
| 7. 600万円以上 800万円未満 | 8. 800万円以上 1,000万円未満 |
| 9. 1,000万円以上 1,500万円未満 | 10. 1,500万円以上 |

アンケートはこれで終わりです。長時間にわたりご協力、誠にありがとうございました。